

JASDAQ

証券コード：8225



FINANCIAL REPORT 2021

第75期株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ、第75期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における事業の概況と決算をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年度の当業界をとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、観光関連業界においては非常に厳しい市場環境となりました。4月に発令された緊急事態宣言以降、感染リスクを避けるため外出が抑制され旅行控えや在宅勤務、内食へのシフトなどが進み、消費の多くを占める飲食や宿泊、レジャーの分野は大きく低迷しました。7月からはGoToトラベルキャンペーンを中心に政府による経済政策が実行されましたが、11月後半からの第3波が大きく押し寄せたことで、外出自粛要請、年末年始の往来が制限され再び停滞感が強まるなど、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループは経営の基本方針として、レジャー産業を基軸にした総合商社として常に環境の変化に対応し、新たな需要の創造と機能性の向上を目指すとともに、事業を通じ生活文化の向上に貢献し、日々新たな挑戦により企業文化の創造と育成を図ってまいりました。

観光土産事業においては人との接触が極端に制限される中、EC（電子商取引）を中心とした新たな販売網を整備すると同時に、土産品という枠にとらわれず地域の方にも喜んで

いただける商品開発、仕入れを実施することで、新たな需要創造と対応を進めてまいりました。また、三密を避けるレジャーとして需要が拡大しているアウトドア事業でのサービスを一層高め、ライトアウトドアユーザーを中心に新たな顧客獲得に取り組んでまいりました。

その結果、第75期における当社グループの経営状況は、売上、利益ともに大きく減少しましたが、事業構造改革によるコスト削減や新たなサービスの提供により次の時代に向けた経営基盤、体制整備に繋がりました。

第76期におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の減退により引き続き不透明な状況が続くものと思われませんが、限られた経営資源を再配分し、成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めてまいります。

また「生み出そう新しい芽」を年度スローガンとして、新たな取組みを積極的に行うとともに環境変化に迅速に対応し意識改革と業務改善を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

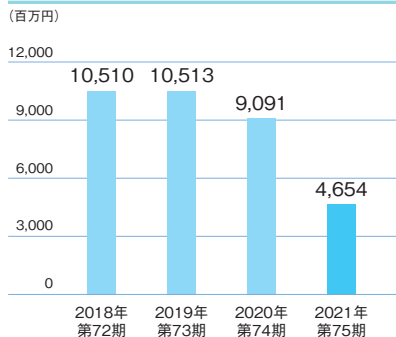
2021年6月

代表取締役社長

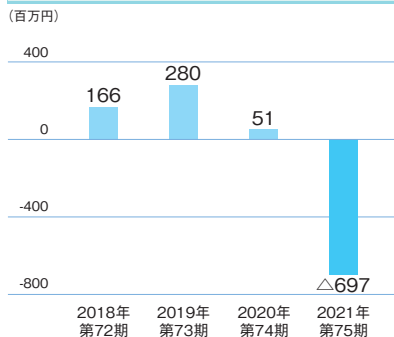
久保田一臣



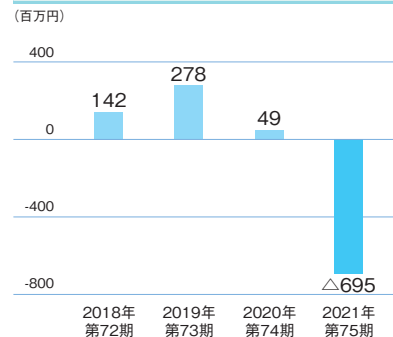
売上高



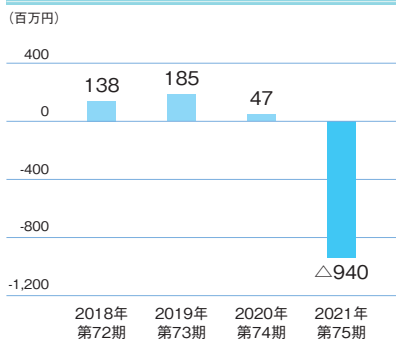
営業損益



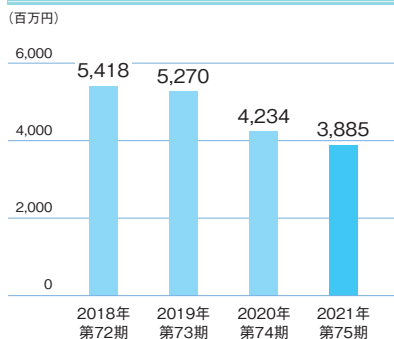
経常損益



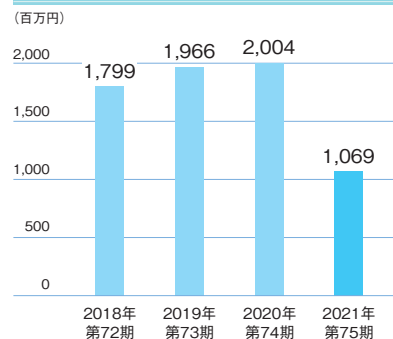
親会社株主に帰属する当期純損益



総資産



純資産



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、状況は厳しく深刻さが増しております。特に、新型コロナウイルスの影響を強く受けた消費関連分野の低迷が際立っており、消費活動に引き続き制限がかかる中で観光関連業界にとって非常に厳しい市場環境となりました。海外では感染拡大が顕著であり、渡航制限によりインバウンド需要は極端に縮小しました。また、国内においては昨年4月の緊急事態宣言以降、外出抑制による旅行控えや在宅勤務、内食へのシフトなどが進み、飲食や宿泊、レジャーの分野は大きく低迷しました。7月からはGoToトラベルキャンペーンを中心に政府による経済政策が実行されましたが、11月後半から再び感染が拡大し、ワクチン接種の見通しが立たないまま年明けには2回目の緊急事態宣言が発令されるなど、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は4,654百万円（前期比48.8%減）、営業損益は697百万円の営業損失（前期は51百万円の営業利益）、経常損益は695百万円の経常損失（前期は49百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損益は940百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前期は47百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

営業施策といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい観光みやげ品事業での回復を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により受注が大幅に減少する中、土産品の枠にとらわれず地域の方にも喜んでいただける商品を生産することで新たな需要創造を進めました。また、新規取引先の開拓をはじめEC（電子商取引）を中心とした新たな販売網の整備を進めましたが、受注減が響き売上高は2,656百万円（前期比56.1%減）となり、営業損益は350百万円の営業損失（前期は255百万円の営業利益）となりました。

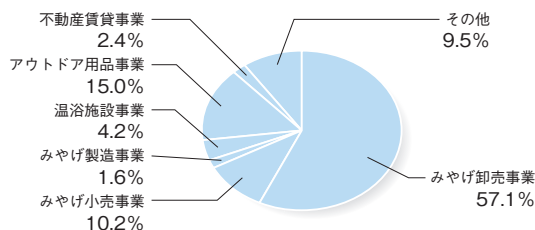
みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により観光客が大幅に減少し、昨年4月の緊急事態宣言時には一部店舗の休業等が余儀なくされる中、旬粋店内においてテイクアウトコーナーのリニューアルを行いました。全体としてGoToトラベル効果により一時的に持ち直しはしたものの、年末以降の感染再拡大及び契約期間満了に伴う一部店舗の退店も影響し、売上高は474百万円（前期比57.0%減）となり、営業損益は134百万円の営業損失（前期は33百万円の営業損失）となりました。

みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により受注が大幅に減少し、製造ラインの停止並びに休業を実施する中、各地の地域性を活かしたオリジナル商品について、自家需要に対応した商品の発売やノベルティ商品の受託など状況に合わせた対応に努めてまいりましたが、売上高は76百万円（前期比64.7%減）となり、営業損益は91百万円の営業損失（前期は37百万円の営業利益）となりました。

事業別構成比



温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・情報発信・実施と共に、接客・サービスのレベルアップ及びリピーターの増加に努めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染リスクを避けた飲食控えの影響が響き、また一昨年の事業譲渡による長野県外5施設の減少及び昨年4月の緊急事態宣言による一定期間の営業自粛並びにその後の営業時間短縮等の措置を実施したことにより、売上高は196百万円（前期比64.8%減）となり、営業損益は29百万円の営業損失（前期は69百万円の営業損失）となりました。

不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は一部テナントの増床及び出退店に伴い109百万円（前期比2.1%増）となり、営業利益は一部増床工事に伴う販売費及び一般管理費の増加により40百万円（前期比13.1%減）となりました。

アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、VANVAN各店において新型コロナウイルス感染症拡大に伴い営業時間短縮等の措置を講じましたが、コロナ禍を背景に三密を避けるレジャーとして需要が拡大しており、サービスを一層高めライトアウトドアユーザーを中心に新たな顧客獲得に取り組むと同時に、各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行ってまいりました。この結果売上高は696百万円（前期比11.8%増）となり、営業利益は99百万円（前期比89.4%増）となりました。

その他事業

その他事業は、ギフト店、飲食店、和洋菓子直売店等の運営が含まれ、昨年6月上旬には長野県長野市の善光寺仲見世通りに「カフェ ドレッタ」を新規オープンいたしました。新型コロナウイルス感染症拡大を背景に巣ごもり需要が高まり和洋菓子直売店は好調に推移しましたが、一定期間の店舗休業や外食控え等の影響を受け、売上高は443百万円（前期比2.9%増）となり、営業損益は13百万円の営業損失（前期は4百万円の営業利益）となりました。

連結貸借対照表

単位：千円

科 目	当 期 2021年3月31日現在	科 目	当 期 2021年3月31日現在
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,616,072	流 動 負 債	1,055,420
現金及び預金	744,290	支払手形及び買掛金	232,563
受取手形及び売掛金	335,808	1年以内返済予定長期借入金	610,376
商品及び製品	347,527	賞与引当金	18,053
原材料及び貯蔵品	72,542	返品調整引当金	1,748
その他	116,346	ポイント引当金	14,985
貸倒引当金	△443	未払金	40,314
固 定 資 産	2,269,908	未払費用	60,419
有 形 固 定 資 産	1,741,971	未払法人税等	16,486
建物及び構築物	725,288	その他	60,472
機械装置及び運搬具	65,790	固 定 負 債	1,760,686
工具器具備品	48,072	長期借入金	1,347,278
土地	902,820	資産除去債務	94,688
リース資産	0	長期預り保証金	304,920
無 形 固 定 資 産	129,572	その他	13,800
ソフトウェア	29,469	負 債 合 計	2,816,106
その他	100,103	純 資 産 の 部	
投 資 そ の 他 の 資 産	398,363	株 主 資 本	1,069,360
投資有価証券	33,657	資本金	1,000,000
敷金及び保証金	199,826	資本剰余金	701,711
繰延税金資産	124,646	利益剰余金	△453,293
その他	53,549	自己株式	△179,056
貸倒引当金	△13,316	その他の包括利益累計額	512
資 産 合 計	3,885,980	その他有価証券評価差額金	512
		純 資 産 合 計	1,069,873
		負 債 純 資 産 合 計	3,885,980



連結損益計算書

単位：千円

科 目	当 期	
	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで	
売上高	4,654,920	
売上総利益	3,538,236	
販売費及び一般管理費	1,116,684	
営業外損	1,814,042	
営業外収益	△697,357	
受取利息及び配当金	13,875	
受取事務	1,044	
その他	1,502	
営業外費用	11,327	
支払利息	11,851	
その他	11,292	
経常損	559	
特別損	△695,333	
特別利益	152,208	
固定資産売却益	363	
助成金の収入	149,282	
その他	2,562	
特別損	148,600	
固定資産売却損	194	
固定資産除却損	1	
減損	148,403	
税金等調整前当期純損失	△691,725	
法人税、住民税及び事業税	14,746	
法人税等調整額	233,659	
当期純損失	△940,131	
親会社株主に帰属する当期純損失	△940,131	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

科 目	当 期	
	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△210,374	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,873	
財務活動によるキャッシュ・フロー	539,925	
現金及び現金同等物の増減額	178,677	
現金及び現金同等物期首残高	554,612	
現金及び現金同等物の期末残高	733,290	

連結株主資本等変動計算書

当期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

単位：千円

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
2020年4月1日期首残高	1,000,000	708,318	496,221	△ 200,363	2,004,177	69	69	2,004,247
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 9,383		△ 9,383			△ 9,383
親会社株主に帰属する当期純損失			△ 940,131		△ 940,131			△ 940,131
自己株式の取得				△ 56	△ 56			△ 56
自己株式の処分		△ 6,607		21,363	14,756			14,756
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						442	442	442
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 6,607	△ 949,515	21,307	△ 934,816	442	442	△ 934,373
2021年3月31日期末残高	1,000,000	701,711	△ 453,293	△ 179,056	1,069,360	512	512	1,069,873

新店舗情報 cafe dolette (カフェドレッタ)



2020年6月5日、善光寺仲見世通り九九や旬粋2階に「cafe dolette (カフェ・ドレッタ)」をオープンしました。これまで「旬粋」で培ってきたそばクレープのノウハウをベースに長野県素材にこだわったガレットと新感覚のスイーツを提供いたします。『dolette (ドレッタ)』は“dot (ドット)”と“galette (ガレット)”に由来。“galette”は丸く薄いものを意味し、“dot”はスポットやランドマークを意味します。信州の新鮮でおいしいフルーツと、ガレット・クレープが楽しめるスポットとして多くの方に愛されたいという願いを込めた店舗名称です。



カフェドレッタでは、季節のフルーツが楽しめるスイーツや長野県産そば粉を使ったガレットを四季折々の善光寺が見える客席でお召し上がりいただけます。

cafe dolette カフェ・ドレッタ

長野県長野市元善町486 善光寺仲見世通り九九や旬粋2階
TEL : 026-217-1427



また、旬粋のそばクレープを「fruit & crepe dolette (フルーツ&クレープドレッタ)」ブランドにリニューアル。21年5月現在、九九や旬粋併設「ドレッタ善光寺仲見世通り店」、軽井沢旬粋併設「ドレッタ軽井沢店」が営業中。ドレッタのクレープ生地は各地域の新鮮な食材をふんだんに使用し、地産地消にこだわったテイクアウトクレープ店です。

生地には長野県産の「小麦粉・米粉・牛乳・卵・ハチミツ」を使用。さらにすり下ろした「りんご」を加え、香りよくもちもちとした弾力のしっとり滑らかなクレープ生地に仕上げました。季節のフルーツを使った期間限定メニューやご当地メニュー（店舗限定）があり、行くとびに楽しさ、新しさ、発見があるお店です。

ドレッタ善光寺仲見世通り店

長野県長野市元善町486 善光寺仲見世通り 九九や旬粋内
TEL : 026-235-5557

ドレッタ軽井沢店

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1178
軽井沢プリンスショッピングプラザ スーベニアコート 軽井沢旬粋内
TEL : 0267-41-1114



ECサイトの運営状況

直営のショップはそれぞれ独自のコンセプトに沿って構築。ご当地の「うまいもん」を集めた『ご当地うまいもんクラブ』、実店舗を構えたアウトドアステーションバンバンおすすめのアウトドアやレジャー用品を提供する『バンバンウェブストア』、自社ブランド旬粋厳選の商品を提供する『旬粋オンラインショップ』の3店舗を展開しています。



OUTDOOR STATION
VANVAN WEB STORE



アウトドアステーションバンバンウェブストア

総合アウトドアレジャーショップ「バンバンウェブストア」では店員おすすめのアウトドア商品を幅広く取り揃えています。



ご当地うまいもんクラブ



ご当地うまいもんクラブ

長野県の美味しさが詰まった信州銘菓「りんごのささやき」をはじめとして、ご当地の「うまいもん」を集めたショップです。



旬粋 syunsui.com



旬粋オンラインショップ

「旬」を素材とした味わいのある逸品を「粋」にコーディネートさせた旬粋ブランドオリジナルアイテムを取り揃えました。



ECモール出店オンラインショップ

大手ECモールへの出店店舗では、長野県にある本社と東日本の様々な地域に拠点を置くタカチホグループの各子会社が、それぞれの地域色を活かし、ご当地の旅の思い出の商品・おみやげ品・特産品・雑貨品を豊富に取り扱っています。まだまだ駆け出しの店舗も多数ございますが、皆様にご満足いただけるような愛される店舗を目指していきます。



株式の状況

Stock Information

(2021年3月31日現在)

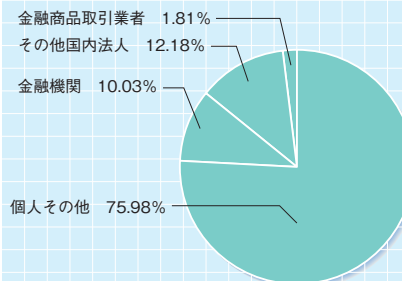
発行可能株式総数 1,600,000株
 発行済株式の総数 727,500株
 株主数 1,185名

大株主

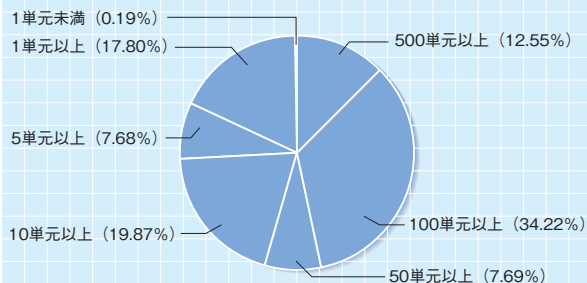
株主名	持株数	持株比率
久保田 一 臣	39,254 ^株	6.2 [%]
株式会社八十二銀行	31,100	4.9
株式会社フラクタル・ビジネス	30,700	4.8
久保田 優 子	26,000	4.1
宮 尾 聡	25,210	4.0
長野信用金庫	24,000	3.8
所 正 純	21,152	3.3
奥 村 学	21,000	3.3
二本松 武 典	16,000	2.5
八十二キャピタル株式会社	14,500	2.3

(注) 当社は、自己株式91,310株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

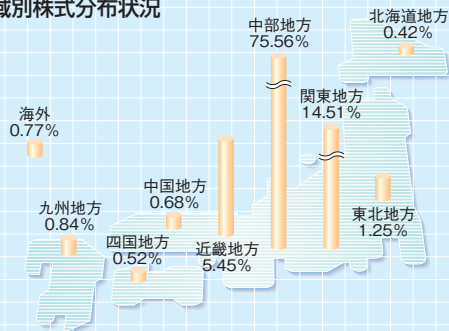
所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株式分布状況



(2021年3月31日現在)

社名 株式会社タカチホ
 所在地 長野県長野市大豆島5888番地
 設立年月日 昭和24年2月28日
 資本金 10億円
 従業員数 連結 161名
 個別 154名
 主な事業内容 当社の事業は、観光みやげ品の卸売事業・小売事業・製造事業、温浴施設事業、アウトドア用品事業、不動産賃貸事業及びその他の各事業で構成されております。

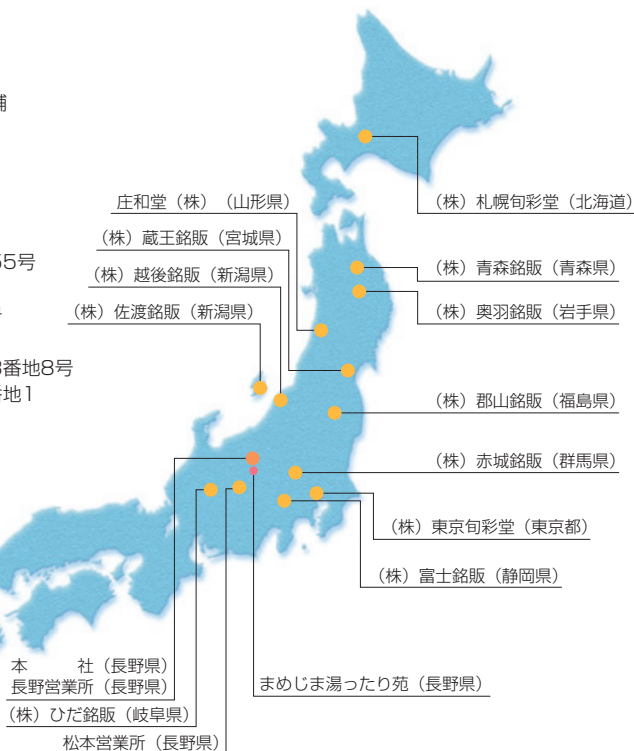
役員構成 (2021年6月30日現在)

代表取締役社長	久保田 一 臣
常務取締役	尾 澤 和 宏
取締役	寺 澤 宏 男
社外取締役	中 湯 村 原 正
社外取締役	所 澤 純 亮
社外取締役	滝 澤 亮 匡
社外取締役	目 黒

社長以下3名の取締役は執行役員を兼務いたします。

主要な事業所 (2021年4月1日現在)

本社 株式会社タカチホ 長野県長野市大豆島5888番地
 長野営業所 長野県長野市大豆島5888番地
 松本営業所 長野県松本市野溝東一丁目2番37号
 小売店 みやげ品小売店 「九九や旬粋」(長野県) など7店舗
 一般商品小売店 「パンパン高田店」(長野県) など6店舗
 製造工場 「お菓子工房」(長野県) 1施設
 温浴施設 「まめじま湯ったり苑」(長野県) 1施設
 その他 「ショッピングタウンあおぞら」(長野県) 1施設・4店舗
 連結子会社
 有限会社タカチホ・サービス 長野県長野市大豆島5888番地
 株式会社越後銘販 新潟県新潟市中央区大島156番地1
 株式会社札幌旬彩堂 札幌市白石区菊水元町八条三丁目5番55号
 株式会社青森銘販 青森県十和田市東三番町3番41号
 株式会社奥羽銘販 岩手県盛岡市津志田中央二丁目7番8号
 庄和堂株式会社 山形県鶴岡市文下字広野11番地1
 株式会社蔵王銘販 宮城県仙台市宮城野区萩野町一丁目13番地8号
 株式会社郡山銘販 福島県郡山市安積町荒井字大久保45番地1
 株式会社赤城銘販 群馬県沼田市久屋原町212番地5
 株式会社佐渡銘販 新潟県佐渡市上矢馳640番地
 株式会社東京旬彩堂 東京都足立区入谷一丁目12番14号
 株式会社富士銘販 静岡県御殿場市板妻字82番地67
 株式会社ひだ銘販 岐阜県高山市松本町72番地1



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://kk-takachiho.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 **タカチホ**
本社：長野市大豆島5888番地 〒381-0022
TEL (026)221-6677 FAX (026)221-1346
URL：<https://kk-takachiho.jp/>

ホームページのご案内

インターネットのホームページにて、決算短信などの企業情報のご提供、営業活動のご紹介、オンラインショッピングによる商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://kk-takachiho.jp/>

オンラインショッピングのご案内

インターネットのオンラインショッピングページにて商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://www.u-mai.jp/>



QRコードからもご覧いただけます。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

